



主要な農作物の生育情報



令和6年度 第5号

(令和6年8月6日現在)

福島県農林水産部農業振興課

【作物】

1 水稻（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

農業総合センターの生育調査におけるひとめぼれの出穂期は、本部（郡山市）が7月30日で平年より4日早く、会津地域研究所（会津坂下町）が7月30日で平年並、浜地域研究所（相馬市）が7月26日で平年より6日早くなっています。なお、会津地域でも田植えが早いところでは出穂が早まっています。

表1 農業総合センターにおける水稻の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	幼穂形成始期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)
本 部	ひとめぼれ	5.15	7.8 (-6)	7.30 (-4)	[9.13]
	天のつぶ	5.15	7.10 (-4)	8.1 (-4)	[9.14]
	コシヒカリ	5.15	7.14 (-8)	[8.11]	[9.23]
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5.21	7.8 (0)	7.30 (±0)	[9.11]
	天のつぶ	5.21	7.10 (0)	[8.1]	[9.11]
	コシヒカリ	5.21	7.13 (-2)	[8.5]	[9.17]
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5.10	7.4 (-2)	7.26 (-6)	[9.12]
	天のつぶ	5.10	7.4 (-3)	7.28 (-5)	[9.21]
	コシヒカリ	5.10	7.10 (-5)	[8.9]	[9.26]

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) ()内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均(2019~2021, 2023年)、それ以外では前5年平均(2019~2023年)との比較。[]内の数値は、平年値。

2 大豆（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

農業総合センターの生育調査における大豆（標播）の開花期は、本部（郡山市）のタチナガハが7月30日で平年より3日遅く、会津地域研究所のあやこがねが7月23日で平年より1日早く、浜地域研究所のタチナガハが7月27日で平年より6日早くなっています。

表2 農業総合センターにおける大豆の生育状況

調査場所	播種 時期	品 種	播種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	5葉期 (月.日)	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)
本 部	標播	タチナガハ	6.6 (+5)	6.16 (+4)	7.11 (+6)	7.30 (+3)	[11.1]
		里のほほえみ	6.6 (+5)	6.16 (+5)	7.10 (+6)	7.28 (+1)	[11.3]
	晩播	タチナガハ	6.20 (+1)	6.27 (-1)	7.17 (-3)	[8.4]	[11.4]
		里のほほえみ	6.20 (+1)	6.27 (±0)	7.17 (-2)	[8.4]	[11.6]
会津地域 研 究 所	標播	あやこがね	5.31 (-1)	6.8 (-1)	7.4 (-1)	7.23 (-1)	[10.16]
		里のほほえみ	5.31 (-1)	6.8 (-2)	7.4 (-1)	7.24 (-1)	[10.23]
	晩播	あやこがね	6.20 (±0)	6.27 (±0)	7.18 (±0)	[8.4]	[10.20]
		里のほほえみ	6.20 (±0)	6.27 (±0)	7.18 (-1)	[8.4]	[10.27]
浜 地 域 研 究 所	標播	タチナガハ	6.6 (-4)	6.12 (-5)	7.6 (-8)	7.27 (-6)	[10.23]
		里のほほえみ	6.6 (-4)	6.12 (-5)	7.4 (-9)	7.25 (-8)	[10.24]
	晩播	タチナガハ	6.21 (-3)	6.27 (-3)	7.14 (-12)	[8.8]	[10.30]
		里のほほえみ	6.21 (-3)	6.27 (-3)	7.12 (-14)	[8.9]	[10.29]

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) ()内の数字は、前5年平均(2019~2023年)との比較。[]内の数値は、平年値。

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

県北地方の4月下旬定植の雨よけ栽培では、収穫量が増加した後、草勢が低下し、尻太果等、果形の乱れが見られています。県北、県中地方の5月下旬定植の露地栽培は、5日程度生育が進み、側枝の収穫中となっています。雨よけ栽培、露地栽培ともに日照不足により流れ果の発生が見られています。

病害は、雨よけ栽培、露地栽培ともにべと病、つる枯病、露地栽培では炭そ病の発生が見られています。害虫は、アザミウマ類やハダニ類、カメムシ類が平年より多く発生しています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型では、現在収穫中で、平年並の9~10段花房開花となっています。また、南会津地方の5月下旬定植の作型では、生育は、平年よりやや早い8段開花となっていますが、収穫は、平年並の7月上旬から始まっています。高温の影響により7段目で花落ちが見られています。

病害虫は、葉かび病や青枯病、オオタバコガの発生が見られています。

3 さやいんげん

県中地方の5月定植の作型は収穫終盤となっています。また、6月以降播種の作型では、高温により花落ちが見られています。

病害虫は、ハダニ類やアザミウマ類、カメムシ類の発生が見られていますが、目立った病害の発生はみられていません。

4 夏秋ピーマン

県中地方の4月定植のトンネル栽培、5月定植の露地栽培は、高温の影響により、平年より生育がやや早く、整枝の遅れや追肥の遅れにより一部のほ場で草勢が低下していますが、生育、果形ともに概ね良好です。

病害虫は、斑点病やオオタバコガ、アブラムシ類、アザミウマ類の発生が見られています。

【果 樹】 (福島県農業総合センター果樹研究所における8月1日現在の生育概況)

1 もも

「あかつき」の収穫盛期は7月22日で平年より13日早く、昨年より3日早くなりました。

果実の大きさは343gで平年よりかなり大きく、糖度は13.2° Brixで平年並でした。

「ゆうぞら」の果実肥大は、暦日比較では縦径が73.2mm(平年比117%)、側径が74.6mm(平年比132%)と平年より大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、平年より大きい状況です。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が64.0mm(平年比113%)、横径が80.7mm(平年比116%)と平年より大きく、「豊水」は縦径が69.7mm(平年比124%)、横径が80.5mm(平年比128%)と平年よりかなり大きい状況です。満開後日数で比較すると、「幸水」は平年並、「豊水」は平年より大きくなっています。

気温と降水量に基づくDVRモデルによる「幸水」の発育予測では、収穫盛期は8月20日ごろで平年より9日早い見込みです。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が71.4mm(平年比105%)、横径が81.1mm(平年比104%)と平年並、「ふじ」は縦径が64.9mm(平年比107%)、横径が71.6mm(平年比107%)と平年よりやや大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種とも平年並となっています。

4 病害虫の発生

果樹カメムシ類やナシヒメシンクイの発生が平年に比べて多い地域があります。7月30日に果樹でカメムシ注意報が発表されたことから、果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 コギク

8月咲きは、草丈が概ね平年並、開花時期がやや前進から平年並であり、既に出荷が始まっています。早い地域では、出荷のピークを迎えました。それ以外の地域では、お盆にかけて出荷量が増えていく見通しです。

9月咲きは、草丈、葉数とも概ね平年並に生育しており、早い地域では発蕾が始まっています。病虫害では、アブラムシ類、アザミウマ類、カメムシ類、タバコガ類の発生が続いています。特にタバコガ類は、9月咲きのほ場でも被害が見られている地域があります。

2 リンドウ

8月盆向けの早生品種では、草丈が平年からやや低い状態です。開花時期が平年並からやや早く、7月下旬頃から出荷が始まっており、8月中旬までまとまった出荷が続く見込みです。

9月彼岸向けの中生品種は、草丈、葉数とも概ね平年並の生育です。

病害は、葉枯病、黒斑病、褐斑病の発生が続いています。特に、葉枯病は下位葉から中位葉で、黒斑病は上位葉まで、7月と同様に発生しています。また、害虫は、リンドウホソハマキ、ハダニ類、アザミウマ類の発生が続いています。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、平坦部、山間部共に2番草の生育が順調に進んでいますが、一部の地域では梅雨の影響により収穫作業に遅れが見られます。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しており、一部の地域では平年より収量が多くなる見込みです。

<< 高温に関する天候情報が発表されています >>

◎ 令和6年度農業技術情報第4号（令和6年7月10日発行）

「高温条件下における農作物等の技術対策」

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/642377.pdf>

を活用し、適切に対応しましょう。

◎ 病虫害の発生状況や防除情報については、病虫害発生予察情報（ホームページ）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、体調管理に十分留意し熱中症対策をしっかりと行い、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>